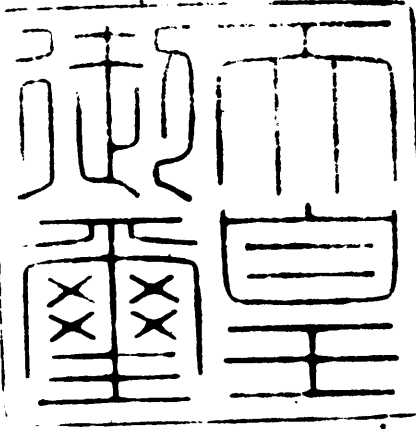


勅令第二百二十六號



朕從業者雇入制限令ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

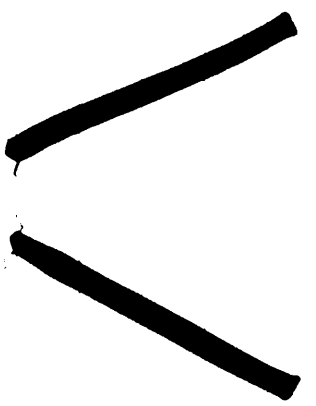
裕仁



昭和十四年三月三十日

月

内閣總理大臣男爵 平沼騏一郎
 拓務大臣 八田嘉明
 厚生大臣 廣瀨久忠



勅令第二百二十六號

從業者雇入れ制限令

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者（以下從業者ト稱ス）ノ國家總

動員法第六條ノ規定ニ基ク雇入れ制限ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

一 年齡十六年以上五十年未満ノ男子ニシテ引續キ三月以上他人

ニ雇傭セラレテ厚生大臣ノ指定スル職業ニ従事スルモノ

二 年齡十六年以上五十年未満ノ男子ニシテ引續キ三月以上他人

ニ雇傭セラレテ前號ノ職業ニ従事シ本令施行後ニ於テ其ノ雇傭

ヲ終了シ且其ノ雇傭ヲ終了シタル日ヨリ厚生大臣ノ指定スル學

校卒業者タル者ニ在リテハ一年、其ノ他ノ者ニ在リテハ六月ヲ

經過セザルモノ

三 引續キ三月以上工場事業場技能者養成令ノ養成工（以下養成

工ト働ス)タル者

四 引續キ三月以上養成工タリシ者ニシテ養成工タラザルニ至リタル日ヨリ六月ヲ經過セザルモノ

第二條 工場又ハ事業場ニ於テ使用スル爲從業者ヲ雇入レントスル者ハ命令ノ定ムルニ依リ前條第一號又ハ第三號ニ該当スル者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ現ニ就業スル地ノ所轄職業紹介所長ノ、前條第二號ニ該当スル者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ雇入終了ニ至ル迄、前條第一號ノ職業ニ従事シタル地ノ所轄職業紹介所長ノ、前條第四號ニ該当スル者ノ雇入ニ付テハ其ノ者ガ養成工タラザルニ至ル迄就業シタル地ノ所轄職業紹介所長ノ認可ヲ受クベシ前條第一號ノ職業ニ従事セシムル爲從業者ヲ雇入レントスル者亦同シ

第三條 職業紹介所長前條ノ認可ノ申請ニ付不正又ハ虚偽ノ事實アリト認めムルトキハ認可ヲ取消スコトヲ得

第四條 第二條ノ認可ニ關シ必要アル場合ニ於テハ同條ノ職業紹介所長及雇入ニ依リ從業者ノ就業スベキ地ノ所轄職業紹介所長ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係人ヨリ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ關係ノ工場、事業場若ハ事務所ニ臨檢セシメ業務ノ狀況若ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

第五條 前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス印章ヲ携帯セシムベシ

第五條 本令ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ於テ從業者ヲ雇入トシテ採用スル場合ニ之ヲ準用ス

内務省
勅令
第...號

印
限

第六條 本令ハ噶又ハ道府縣ニ於ケル從業者ノ雇人ニハ之ヲ適用セ
ズ

第七條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ
在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リ
テハ南洋廳長官トシ兼兼紹介所長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、
郡守又ハ廳司、臺灣ニ在リテハ市尹又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ
廳長）、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋
廳支廳長トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ
州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トス

附
則

本令ハ昭和十四年四月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太

及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス